

ブラジル・ウィークリー

2018年1月15日発行号
作成：日興アセットマネジメント

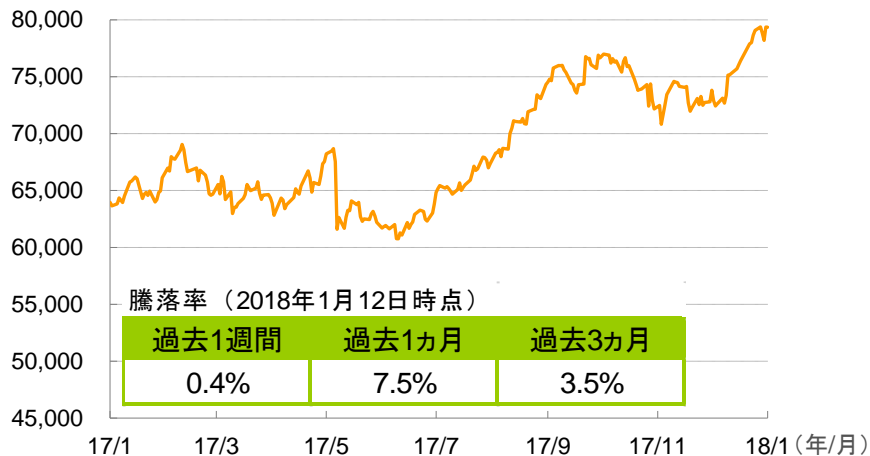


先週の ブラジル株式市場 の動き (1月8日～1月12日)

ブラジル株式市場は、ボブスパ指数で前週末比+0.4%となり、週間ベースで4週連続の上昇となりました。8日(月)は、ブラジル政府が公的部門の借入れを投資目的に限定する「ゴールデン・ルール」と呼ばれる財政ルールの変更に対する一部の懸念に対し、停止する意向はないと述べたことなどが材料視され、上昇しました。9日(火)は、利食い売りの動きが強まったことなどから、反落しました。10日(水)は、マイア下院議長が、選挙に関する議論を早期に行なうことは2月実施予定の年金改革法案の採決に支障を与えかねないと主張したと報じられたことを受けて、政府の改革推進に対する懸念が高まり、続落しました。11日(木)は、米国株式市場の上昇や原油高を受けて、エネルギーセクターを中心に買いが集まり、ボブスパ指数は前日比+1.5%と週の中で最も大きく上昇しました。12日(金)は、大手格付会社がブラジルの信用格付を「BB」から「BB-」に引き下げたものの、市場では同格下げがほとんど織り込まれていたことなどから、小幅な反落に留まりました。

ボブスパ指数の推移

(2017年1月12日～2018年1月12日)



レアル(対円)の推移

(円) (2017年1月12日～2018年1月12日)



1月12日時点(過去1週間=1月5日、過去1ヵ月=17年12月12日、過去3ヵ月=17年10月12日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。